



平成21年4月28日

各 位

会 社 名 第一工業製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大柳 雅利
 (コード番号 4461 東証・大証各第一部)
 問合せ先 専務取締役 坂本 隆司
 (TEL 075-323-5955)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年2月13日公表した連結及び個別の業績予想並びに配当の予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,300	270	50	△ 250	△ 6.40
今回修正予想(B)	46,500	300	△ 30	△ 350	△ 8.97
増減額(B-A)	200	30	△ 80	△ 100	—
増減率(%)	0.4	11.1	—	—	—
(ご参考)前期実績 平成20年3月期	48,875	623	351	436	11.17

2. 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,500	△ 350	△ 400	△ 430	△ 11.02
今回修正予想(B)	37,600	△ 250	△ 285	△ 445	△ 11.40
増減額(B-A)	100	100	115	△ 15	—
増減率(%)	0.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 平成20年3月期	40,345	45	△ 77	163	4.18

3. 修正の理由

通期の連結業績予想については、売上高及び営業利益については、ほぼ前回予想並みとなる見込みです。しかし、世界的な金融危機が実態経済を直撃し、急激な円高、在庫調整などによる急速な需要減退の影響を受け、連結子会社の業績の悪化が予想を上回るとともに、個別では固定資産の減損が発生するなど、経常利益及び当期純利益とも、前回予想を下回る見込みです。

通期の個別業績予想については、売上高はほぼ前回予想並みとなる見込みです。営業利益、経常利益につきましては、人件費を中心とした総経費の削減が功を奏し前回予想を上回る見込みですが、固定資産や子会社株式の減損が発生するなど当期純利益は、前回予想を下回る見込みとなりました。

4. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年2月13日発表)		5.00	5.00
今回修正予想		3.00	3.00
当期実績	0.00		
前期(平成20年3月期)実績	0.00	5.00	5.00

(2) 修正の理由

当社は、配当については、将来の事業展開に必要な内部留保金との整合性を図りつつ、企業価値の増大に努め、株主のみなさまへの長期的、安定的な配当を維持することを基本方針としています。しかしながら、本日発表の平成21年3月期の業績予想では、大幅な赤字決算は避けられない見込みとなりました。

従いまして、誠に遺憾ながら期末の配当金につきましては、1株当たり3円(前回予想2円減少、前期実績2円減少)に修正いたします。

今後につきましては、早期に業績を回復し、長期的、安定的な配当を維持できることを目指し、全社一丸となって努力する所存でございますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上